

2024年8月5日

国際ロータリー第 2720 地区
2024-25 年度 クラブ会長・幹事 様
2024-25 年度 クラブ青少年奉仕委員長 様

国際ロータリー第 2720 地区
2024-25 年度 地区ガバナー 三村 彰吾
地区青少年奉仕部門長 井上 邦広
地区青少年奉仕副部門長 上野 公則
地区青少年交換委員長 馬ノ 昌実
地区青少年交換副委員長 若杉 美雪
地区青少年交換副委員長 岡崎 利昭

青少年交換委員会プログラム

2025-26 年度青少年交換生・募集案内について

国際ロータリー青少年交換につきまして、平素よりご理解・ご尽力頂いておりますことに感謝申し上げます。すでにご承知の通り、当地区はロータリー国際青少年交換プログラムに基づき、海外のロータリーと生徒の交換を行っています。この制度では、皆様のご家族であつたりご推薦なさる高校生が交換生(Exchange Youth)として一定期間、海外のロータリアン或いはロータリーが推薦する家庭にホームステイしつつ現地の学校で学びます。国際ロータリー(R.I.)は、ロータリー青少年交換に参加する恩恵についてこう説明しています...
<https://www.rotary.org/en/our-programs/youth-exchanges>

交換プログラムに参加すると、下記のような "本物の可能性" が開かれます:

- * 生涯にわたる対人リーダーシップを磨くことができる
- * 新しい言語と文化を学ぶことができる
- * 世界中の若者達と長きにわたる友情を築くことができる
- * "グローバルな" 市民となることができる

更に、日本経団連は既に 2020 年 3 月 31 日に文系/ 理系を問わず求められる能力として;

1. リテラシー(データ分析/ 推論構築能力, 論理的文章表現力, 並びに外国語コミュニケーション能力)
2. 論理的思考力並びに理想と有益性をきちんと考察できる規範的判断力
3. 上記 2. をベースに社会システムを構想・設計する力
4. 課題発見・解決能力

を挙げています。 https://www.keidanren.or.jp/policy/2020/028_honbun.pdf

つまりこうした人材は、1. 海外と比較した日本の良さを体感していて、2. 複眼的なものの見方ができ、更に
3. 現地でマイノリティとして困難を乗り越えた経験を持っている - のです。

さて標記の件、当地区にては以下のように交換を行うことを予定しております。つきましては、派遣候補者を募集、選考(面接及び意志確認)の上ご推薦下さいますようお願い申し上げます。その際は以下にご説明申し上げます内容に鑑み、厳正かつ適切に手続きをお進め下さいますようお願い申し上げます。尚、推薦される生徒は、ロータリアン或いは非ロータリアンの子息(親族)であるか否かを問いません。宜しくお願い申し上げます。

記

1. 交換可能性のある地域: 北中南米, 英, アイルランドを除く欧州, 豪州/ ニュージーランド, 台湾, その他アジア
* 注: 派遣希望者, その保護者, スポンサークラブ等による派遣希望先(国, 地域等)の表明, 指定は受け付けられません - 地区青少年交換委員会は、決して無料の留学エージェントではない旨ご理解頂き、派遣希望者/ 保護者にもご徹底下さい。

2. 対象: 派遣時 16 歳~18 歳(帰国時 19 歳以下)の 2720 地区内の高校に在籍する生徒で
- 国際文化交流に高い意欲を示し、論理的思考をもって派遣先の高校生及びロータリアンへのプレゼンテーション及び意見交換のできる者、更には派遣先の言語習得に意欲的な生徒
 - 派遣時点で、国際的外国語運用力レベルの "CEFR B1~B2(実用英検換算 2 級~準 1 級)" にある者
 - 心身共に健康で、海外での 3~12 ヶ月の自立した規律を伴う生活に耐えられる者
 - 派遣時に在籍する高等学校の学校長の推薦及び休学許可を得られる者
 - ロータリーの何たるかをできる限り理解している生徒であり、保護者が非ロータリアンである場合は保護者がロータリーの何たるかを最大限理解していること
 - 親の許可を得ており、推薦クラブの会長の承諾(サイン)を得られる生徒であり、更に推薦クラブが交換で来日する学生の適切なホストファミリーを滞在期間に亘り保証できること
 - 帰国後は "Rotex" として、1 ケ年はロータリークラブ及び地区青少年交換委員会が主催する行事へ必ず出席し、後輩のサポートをし、各機会で自分の経験や学んだことを披露できる者
 - 地区青少年交換委員会が複数回の面談を通じ、派遣できると判定/ 是認した者
3. 時期: i. 短期交換 - 2025 年度の適切な時期 = 3 ヶ月以内 - 就学ビザを必要としない場合もあります
ii. 長期交換 - 2025 年 7 月以降出発 = 1 学年(アカデミック・イヤー)修了後帰国
- 就学ビザが必要となりますが、出発時期は各国の学年開始時期により異なります
4. 募集人数: 短期交換, 長期交換とも若干名、但し 1 クラブよりの推薦者数は 2 名以内とします
5. 申込期限: i. 短期交換 - 2024 年 8 月以降随時
ii. 長期交換 - 2024 年 8 月以降, 9 月末必着 [個別条件により別途決定]
6. 費用負担: i. 派遣される生徒および保護者
- * パスポート、ビザの取得、健康診断など、渡航に関して必要となる費用
 - * 旅費(往復の航空運賃・空港までの交通費)、(RIJYEM=国際ロータリー日本多地区合同機構より加入が義務付けられるものを含む)日本で加入する海外旅行傷害保険の保険料、現地で加入する公的健康保険或いは民間傷害・疾病保険の保険料
 - * 現地における緊急費用(=現地の銀行に預けて RC の担当責任者に管理してもらい、緊急時に引き出す現金[US\$500 程度])および日本円(2~3 万円=帰国時に必要な費用)
 - * 派遣先で必要な衣類等や個人的なものに対する費用
(国ごとの一般的な "お小遣い額" については、必要に応じて個別に当委員会宛ご相談下さい)
 - * 帰国後、自らの被派遣経験を発表する行事 - 報告会や次年度プログラムのオリエンテーションなど - への参加費
 - * 派遣生向けのグループツアー等が地区或いは多地区合同機構でアレンジされる場合は、参加費用が別途必要となります。詳細は派遣決定後に相手地区より連絡されます。
 - * 個人的なお小遣いは自らの出費となりますが、US\$100~150/月の小遣い補助が受け入れ RC からある場合もあります。更に、現地でのオリエンテーションや交流会等にかかる諸費用が概ね 7~10 万円となります。
- ii. ホストファミリー(来日学生の受入家庭)
- * 受入期間中の食事代(弁当を含む)など
 - * 家族と共にする小旅行、観劇、コンサートチケット代などの娯楽費
 - * なおホストファミリーには補助金がホスト RC より支給されます。ホスト RC には地区青少年交換委員会よりの補助がありますが、詳細については別途お尋ね下さい。
- iii. ホスト(受入)RC
- * 授業料については受け入れ側のホスト RC が派遣生徒を受け入れる高校と協議
 - * 学校に要する費用(授業料、教科書等)は、原則として受入ロータリークラブが負担することになっています。ただし、制服・部活費は本人負担の場合もあります。
 - * 通学に要する交通費。具体的には各クラブで決定されます。
7. 申し込み: 受け付けられた地区内の各 RC より、青少年交換委員長 馬 昌美(kouma304@gmail.com), 同副委員長 若杉 美雪(moremoremore1975@gmail.com), 岡崎 利昭(okazaki@aye.jp), 又は国際ロータリー第 2720 地区青少年交換委員会宛のメッセージを同委員会フェイスブック、<https://www.facebook.com/profile.php?id=61550859128415> 宛にお送り下さい。折り返しご連絡致します。